

当協会ホームページの会員用ページに当協会活動を定期的に報告します。

HP 事務局だより 平成24年9月～10月(予定分)

平成24年10月1日 常務理事 事務局長 甲賀 大樹

理事会・総会について

8月1日に公益法人 日本滑空協会になり、9/1に理事会、9/29に総会を開催しました。

法人法の規定により、協会の存亡や会員に関する重要裁決の他、総会での決議事項は、財務諸表（貸借対照表、損益計算書等）および財産目録の承認となり、事業計画、事業報告、予算は理事会において承認後、総会で概要を報告することになります。公益法人への移行と関連して、昨年度および本年度は変則的なスケジュールとなり、何回も総会を開催しましたが、来年度以降から定例総会は年1回、6月中旬に開催します。

今年3月10日に開催した旧法人総会でご承認を受けた平成24年度事業計画と予算案を新法人でもほぼそのまま実施しております。7月末で旧法人が解散し、新法人が設立されたため、年間計画が2分されました。7月末までの損益計算書経常収支では収入272万、支出284万、収支差額 11.8万となりました。経常収支が赤字になったのは残念ですが、会費収入の少ない期間にあたったうえ、新法人設立に伴う事務費用等が追加されたためです。貸借対照表では資産合計561万（流動資産379万、固定資産181万）、負債合計161.6万で、正味財産は399万になりました。平成24年度後半、新法人の24年度経常収支予算では収入716.6万、支出689.6万、収支差額27万を予定しており、経常外収支予定はありません。7月末までの収支差額 11.8万を合わせると事業年度が2分する前の24年度予算案（4月～翌年3月）での収支差額とほぼ同額（プラス16万円）になります。

事業計画は例年と大きな変化はありませんが、新法人設立に関連する業務量を考慮して、控えめな計画になっております。当初計画から外した安全飛行大会は、若手パイロット育成と協賛企業との関係を考慮して、予算30万円で実施することにして、理事会の承認をいただきました。

9/1の理事会で必要手続を終了しましたので、電子メールでの総会開催通知および出欠、直接表決、委任状の提出が出来るようになりました。電子メールの利用は経費の面で大きな削減になりました。なるべく多くの会員に電子メールで連絡できるよう、アドレス変更届をいただければ幸いです。

1. 法人業務

* （公社）日本滑空協会理事会開催 9月1日 於日比谷図書文化館セミナールーム

公益社団法人設立後の最初の理事会を開催し、全役員出席、下記議案をすべて承認。

第1号議案 平成24年度（4-7月期）事業・決算報告（案）

第2号議案 平成24年度（8-3月期）事業・収支計画（案）

第3号議案 協会規程等の制定： 総会運営規則（案）、 入会申込書・退会届様式、

旅費・謝金規程（案）

第4号議案 その他： 年間予定：総会6月中旬、理事会 1月末、理事会 5月中旬、理事会 9月初旬 事務局業務開始に係る諸手続 理事会・総会開催に係る諸手続

その他 理事会開催、協会運営に係る諸打合せ。

* （公社）日本滑空協会総会開催 9月29日 於 航空会館603会議室
出席議決権数323（出席13、直接表決230、委任80）、なお定足は318

総会審議事項

第1号議案 平成24年度（4-7月期）事業・決算報告（案）

第2号議案 総会運営規則（案）

総会報告事項

公益社団法人への移行について

公益社団法人 日本滑空協会の事業内容について

平成24年度（8-3月期）事業・予算計画について

2. 滑空スポーツ統括・普及事業

* 「空の日」式典 9/20 於 航空会館
航空平安祈願祭 於 9F屋上 航空神社
表彰式 グライダー関係者

- ・FAIポール・ティサンディエ・ディプロマ 佐藤淳造
- ・FAIエア・スポーツメダル 万場泰雄、鐘尾みや子、吉瀬はるか
- ・日本記録証 市川展 3旋点距離 506.8km、500km往復コース速度 133.87km/h
（2012.2.15、オーストラリア トカモール飛行場）

祝賀会

3. 滑空スポーツ愛好者育成事業

* 特になし

4. 滑空スポーツ競技会関連事業

* 第15回東京六大学対抗グライダー競技会 9/15~22 於 妻沼滑空場
法政大学、東京大学、明治大学、立教大学、早稲田大学、慶應義塾大学による対抗戦、一周約24kmのレーシングタスク。参加選手数22名、12機
異常気象（大気不安定）のおかげで多くの周回があり、XCソアリング競技会だった。
団体・個人優勝者に日本滑空協会賞を授与

団体：優勝 慶應義塾、2位 東京大学、3位 早稲田大学

個人：優勝 伊藤敦規（慶應）、2位 飯田健登（慶應）、3位 平田貴大（東大）

- * 2012年霧ヶ峰グライダー競技会 9/9-10/7の期間中10日間 於 霧ヶ峰滑空場
諏訪市グライダー協会内競技会 山岳地における目標地点周回距離競技
1部最優秀選手に滑空奨励賞を授与

- * 第15回全日本学生グライダー新人競技大会 10/4-9 於 木曾川滑空場
団体・個人優勝者に日本滑空協会賞を授与
(公財)日本学生航空連盟内競技会 加盟校27大学、2年生までの47選手出場、教官
同乗による基礎技術競技。

以上